



香川県水産業基本計画

豊かな海を創造し、香川の水産業を未来へつなぐ

概要版



令和8～12年度

かがやくけん、かがわけん。

香川県

計画の概要・背景

1 計画策定の趣旨

本県水産業・漁村を将来にわたり持続的に発展させていくため、水産業を取り巻く状況の変化や課題等を検討し、本県水産行政の進むべき基本的方向を示す、新たな基本計画を策定するもの。

2 計画の性格

本県水産業の基本指針として、県の総合計画等との整合性を図りつつ、本県水産業の目指す基本的方向、施策の展開方向を示すもの。

3 計画の期間

令和8年度（2026年度）から令和12年度（2030年度）までの5か年計画

4 本県水産業を取り巻く環境の変化

- 気候変動等による海域環境の変化（海水温の上昇、海域の貧栄養化等）
- 国際情勢の不安定化と物価の高騰
- 人口減少に伴う人手不足
- 外国人観光客の増加
- 社会全体でのデジタル化の進展
- 水産政策の改革（資源管理の強化、海業の推進等）

5 本県水産業の現状

- 漁業者の減少と高齢化の進行
- 漁業生産量の減少（特にカレイ・タコ類などの「底もの」が顕著に減少）
- 水産物消費の減少（魚離れ）
- 生産資材（燃油、飼料等）の価格高騰

基本目標・基本方針

基本目標

豊かな海を創造し、香川の水産業を未来へつなぐ

生産基盤である「豊かな海」を再生・創造し、その恵みを最大限に活かすことで漁業経営を安定化し、担い手確保や漁村の活力向上につなげる

基本方針

豊かな漁場の創造

漁場環境を改善し、さかなの育つ環境を整えるとともに、資源の増殖や持続的な利用を図り、豊かな漁場の創造をめざす

持続可能な漁業経営と所得向上の実現

魅力ある水産物をつくり、その価値を高めるとともに、消費拡大と生産性の向上を通じて、漁業経営の安定と所得の向上をめざす

漁業を支える漁村地域の活性化

漁業を支える人と地域を育み、安全・安心な暮らしを守るとともに、地域資源を活かした賑わいづくりを通じて、漁村地域の活性化をめざす

豊かな漁場の創造

展開方向

1

さかなの育つ環境づくり

重点施策

- ① 漁場環境の保全・再生・創造
- ② 漁場環境の調査・監視
- ③ 適切な栄養塩類の管理
- ④ 有害生物等による漁業被害対策

指標

現状

目標

藻場造成面積（累計）

4.9ha
(R2~6)8ha
(R8~12)漁業者等による漁場
保全活動の件数13件
(R6)23件
(R12)

展開方向

2

資源を積極的に増やす取組み

重点施策

- ① ニーズを踏まえた種苗の供給
- ② 効果的な種苗放流の促進

指標

現状

目標

種苗生産の年次目標
の達成率80%
(R2~6平均)100%
(毎年度)魚介類の増殖技術
の開発件数（累計）3件
(R2~6)新たに3件
(R8~12)

展開方向

3

資源の持続的利用

重点施策

- ① 科学的知見に基づく資源管理の推進
- ② 円滑な水面利用の推進

指標

現状

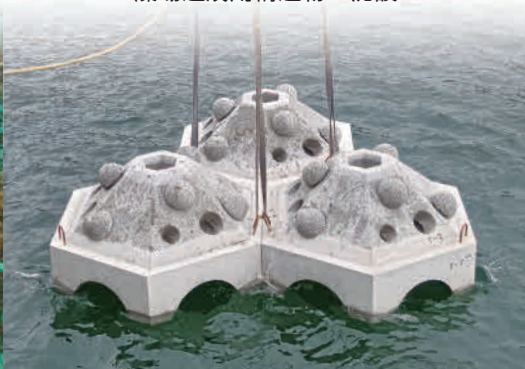
目標

県下6漁協の
イイダコ漁獲量1,858kg
(R6)5,574kg
(R12)操業安全講習会の
開催（累計）4回
(R2~6)5回
(R8~12)

魚介類の産卵や生育の場となる藻場



藻場造成用構造物の沈設



種苗生産技術の開発（完全養殖の稚イイダコ）



持続可能な漁業経営と 所得向上の実現

展開方向 1

養殖業の生産振興

重点施策	指標	現状	目標
① 魚類養殖業の振興	オリーブ水産物の 生産尾数（累計）	112万尾 (R2～6)	145万尾 (R8～12)
② 藻類養殖業の振興			
③ 貝類養殖業の振興	クロノリ1冊当たりの 生産枚数	3,702枚/冊 (R2～6平均)	4,530枚/冊 (R12)

展開方向 2

収益性向上と経営安定対策

重点施策	指標	現状	目標
① 水産物の付加価値向上	隠れた地魚※の 水揚げ金額 ※クロダイ、エイ、アイゴ	18,486千円 (R6)	24,000千円 (R12)
② イノベーションの創出			
③ 収入安定・コスト対策	スマート水産技術の 導入経営体数（累計）	8経営体 (R6)	新たに 10経営体 (R8～12)

展開方向 3

販売促進と消費拡大

重点施策	指標	現状	目標
① 販売促進	1世帯当たり 魚介類購入金額	67,990円 (R6)	74,789円 (R12)
② 売れる仕組みづくり			
③ 地産地消の推進	県産水産物の販売促進 キャンペーンにおける 応募件数	9,884件 (R4～6平均)	14,826件 (R12)
④ 安全・安心の確保			

オリーブサーモンの出荷



隠れた地魚の利用促進



香川おさかな大使による県産水産物のPR



漁業を支える 漁村地域の活性化

展開方向

1

漁業の担い手確保と組織強化

重点施策

- ① 担い手の確保・育成
- ② 漁協の組織強化

指標	現状	目標
新規漁業就業者数 (累計)	137人 (R2～6)	200人 (R8～12)
漁協への経営改善に 関する指導・助言回数 (累計)	69回 (R2～6)	200回 (R8～12)

展開方向

2

安全・安心な漁村づくり

重点施策

- ① 漁港・漁業関連施設等の整備
- ② 地震・津波対策

指標	現状	目標
漁港海岸保全施設の 整備延長	1,352m (R6)	8,336m (R12)
防災講習会の開催 (累計)	3回 (R2～6)	5回 (R8～12)

展開方向

3

漁村のにぎわい創出

重点施策

- ① 海業の推進
- ② 多面的機能の維持・発揮

指標	現状	目標
漁業者等による交流 イベントの実施回数 (累計)	83回 (R6)	450回 (R8～12)
新たな「海業」の 取組み件数 (累計)	0件 (R6)	5件 (R8～12)

かがわ漁業塾での定置網漁体験



防波堤（ケーソン）の整備



水産イベントでのタッチプール





豊かな海を創造し、
香川の水産業を未来へつなぐ